原っ子

学校だより №38（通算81号）
令和５年１月９日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

【耳納連山から昇る初日】

合言葉「チャレンジ！ みんなで学ぶ やりとげる」
１月のめあて「時間を守って生活をしよう」

命が大切にされる年に

２０２４年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願いします。清々しい気持ちでお正月を迎えていたところ元日から大きな災害や事故が立て続けに起こりました。一日には、石川県の能登地方で震度７の大地震が発生しました。二日には、日本航空の旅客機と海上保安庁の小型機が羽田空港の滑走路上で衝突しました。亡くなった方々のご冥福と災害に遭われた方々が一刻も早く安心した暮らしができるようにお祈りしたいと思います。外国では、今なお戦争が続いていて多くの人々や子どもたちが亡くなっています。

命がなくなるほど悲しいことはありません。今年も自分や友だちの命を大切にして、元気に楽しく学習や生活に取り組んでほしいと思います。

まとめの後期後半、力をどこまで伸ばせるか

★分かる、楽しい授業　★学び合う集団づくり　★信頼できる先生

１年間の総仕上げの時期に入ります。６年生は卒業まであと２ヶ月ちょっとです。６年間の学習のまとめと卒業準備で忙しいですが、最後までやり遂げてほしいです。どの学年も目標をしっかり定めて一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

【学習づくり】　※授業の流れの習慣化とこれまでの学習内容の復習・定着

○学習問題（めあて）を捉え、自ら考え、友だちと考えを伝え合いながら自ら答えを見つけていく力→達成感を自己肯定感につなげ、自信をもち、学ぶ意欲や表現力を高めるために
- 学習問題（めあて）を自ら見つけ、答えを出しまとめる授業の積み上げと習慣化
- 自ら生き生きと活動する場（話す、書く、対話し交流する、タブレットを活用する）の積み上げ
- 追究したことの発信（６年感謝の会、５年大刀洗空襲、４年二分の一成人式など）

○これまでに学んだ学習内容の復習・定着
- 朝活や補充学習、家庭学習の時間を使いながら　・特に苦手な学習内容から

【生活づくり】　※子どもの思いを大切にした指導・支援

○友達同士進んで関わり合い、認め合い、大切にし合う力→友達と学び合うことを実感し、学校・学級を安心できる場にするために
- 授業や学校行事、学級活動などでお互いが関わる場の設定（５・６年卒業式）
- 子どもへのプラス評価と称賛（一人ひとりの子を意識して）
- 生活（いじめ防止）アンケートやアセス（学級適応感調査）アンケートによる情報の把握と対応

○コミュニケーション力→お互いに気持ちよく過ごし、やる気アップにつなげるために
- 積極的なあいさつ　・相手のよさや考えを伝え合う取組（いいところ見つけ、できるようになったよ発表会（１年生）、学級会　等）

【体力づくり】　※運動量を確保し、寒さや病気に負けない体力の維持・向上

○進んで体を動かし、体力を高めようとする力→寒い時期こそ運動の機会を増やし、病気に負けない体力をつけるために
- 授業での準備運動（体力テストで課題のあった種目を中心に）
- 授業内での運動量確保（汗をかくくらい）
- みんなで遊ぶ日（外遊び）の継続実施

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

報告が遅れましたが、児童運営委員会主催で取り組んだ赤い羽根共同募金が、総額 **18,022** 円集まりました。１１月２９日に小郡市社会福祉協議会の方へ贈呈しました。子どもたちに「助け合い」「おもいやり」の心を広げるよい機会になったと思います。このお金は、お年寄りや障がいのある方など助けを必要としている人やボランティア団体の助成などさまざまな社会福祉事業に使われます。ご協力をありがとうございました。

６年生 東野小学校６年生とのソフトバレー交流会

１２月２０日（水）に、大原小と東野小６年生によるソフトバレー交流会を行いました。中学校で一緒になる両校の６年生同士が混合でチームになり交流を深めます。新型コロナ感染症のため４年ぶりの開催となりました。試合前に自己紹介とルール説明、準備運動をした後、試合を始めました。はじめは会話もぎこちなく、なかなかパスもつながっていませんでしたが、時間が経つうちに段々とチームプレーが見られるようになってきました。

大谷翔平選手寄贈のグローブが届きました！

～「野球しようぜ。」のメッセージ～

冬休みに大谷選手寄贈のグローブが届きました。左利き用が１つと右利き用が２つで大きいサイズと小さいサイズがあります。大谷選手からは、『このグローブが自分の次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。学校でお互いに共有し、野球を楽しんでください。「野球しようぜ。」』と書かれたメッセージ文をいただきました。グローブは１階中央ゾーンに展示しています。子どもたちはさわったり手にはめたりしながら大谷選手に思いを馳せているようでした。

学校は楽しいですか？

～子どもたちへのアンケートから～

本校では子どもたちが、「学校が楽しい」「自分のことが好き」と思える子を増やすことを中心に置いて、重点目標「学び合い 助け合い やり遂げる集団づくり」を達成していきたいと考えています。

冬休み前、これまでの学校生活や私たちの取組が子どもたちにとってどうだったのかを検証するために子どもたちに２回目のアンケートをとりました。

★アンケートの結果

【学校が楽しいですか】令和４年度 **81.9** ％→夏休み前 **86.6** ％→冬休み前 **88.8** ％

【自分のことが好きですか】令和４年度 **65.3** ％→夏休み前 **69.5** ％→冬休み前 **70.3** ％

子どもたちの意識がどちらもプラス方向へ動いていたのでよかったです。しかし、この子がんばってるなと思っている子がアンケートでは、「自分のことが好きじゃない」のところに〇をしている子が多いことにおどろきました。先生たちから見たら「頑張っているよ」といえる子なのに自分に厳しいのでしょうか。もしかしたら先生やお家の人から叱られることが多くて自信が持てていないのかもしれません。先生たちもお家の人も子どもたちのよさや頑張っているところを一人ひとりの子どもに伝え、自分のことを肯定的に捉え自信をもっていけるようにしていきたいと思います。

３月には、１年間の振り返りとして、合言葉「チャレンジ！ みんなで学ぶ　やりとげる」ことができたかどうかのアンケートをとります。子どもたちのがんばりや自己肯定感の高まりが見られる結果になればと期待しています。